

～令和の学び～

概要版



「渋沢 spirit in ふかや GIGAスクール」 Ver. I

深谷市では、GIGAスクール構想による1人1台タブレットの整備と、高速大容量の通信ネットワーク整備による、教育環境の劇的な変化の中で、これからの時代を生き抜く子供たちに必要な力について協議を重ね、「令和の深谷の学び」を見すえた「渋沢 spirit in ふかや GIGAスクール」構想を策定しました。

未来の深谷を担う人材を育むために・・・

深谷市の教育の基本理念

「 立志と忠恕の深谷教育 」
～ふるさとを愛し、夢をもち志高く生きる～

深谷の子供たちの実態と、国・県の動向を踏まえ、「深谷市学校教育振興懇談会」等で、深谷教育の肝となる「立志」と「忠恕」の精神を根底にすえて協議を重ねる中で、今、子供たちに育むべき「7つの力」を導きだし、深谷市のICT教育を推進することとしました。

グローバル化、急速な情報化、技術革新

社会的変化

新しい教育が求められている

自分のよさや可能性に気付き、周りの人のよさを認め尊重し、多様な人たちと一緒に活動しながら様々な社会的変化を乗り越え、よりよい人生とよりよい社会を築いていく人材の育成。

深谷市の
子供たちの実態



国・県の動向
Society5.0
GIGAスクール構想



深谷市で育みたい
「7つの力」

深谷市で育みたい「7つの力」

深谷教育の「立志」と「忠恕」の精神を根底にすえて、深谷市で育みたい力を「7つの力」と位置付けました。

立志

深谷市で育みたい力

忠恕

基礎的な力

すべての学習を成立させる上で必須となる、読み、書き、計算などの力。各教科の基本となる知識や技能を習得する力。

※ ドリル学習で身に付ける基礎的な力。調べ学習で身に付ける基本的な情報を活用する力。



思考・判断・表現する力

具体的な根拠を基に、誰もが納得できるよう筋道を立てて多面的に考える力。また、その考えた内容を正確に伝え合う力。

※ 適切な資料を選択し、調べたことをもとにまとめ、相手へ伝える力。



自らを高める力

よりよい自分や社会を実現するために、過去の経験や知識を組み合わせて、新しい考えやよりよい考えを作り出し、周囲と積極的に関わっていきこうとする力。

※ 地域や関係諸機関とつながることで、多様な価値観にふれ、自らの考えを深める力。



協調・協働する力

一人一人の考え方の多様性を認め、生かす協調する力。異なる者同士が互いのよさを生かして問題の解決や目的に向かう協働する力。

※ テレビ会議システム等を活用し、ゲストティーチャーや関係諸機関などの人材を用いた遠隔授業等で社会とつながる力。



コミュニケーション力

多様な価値観や背景をもつ集団において、相互関係を深め、共感しながら人間関係やチームワークを形成し、正解のない課題や経験したことのない問題について、対話をして情報を共有し、自ら深く考え、相互に考えを伝え、深め合いつつ合意形成・課題解決する力。

※ 各授業でICT機器を使いながら個人の意見を共有し、学び合うことで、知識や技能を高める学習を行う力。



思いやる力

相手の立場に立って考え、相手の気持ちを大事にし、行為などにして表す力。具体的には、温かく見守り、接することや相手の立場に立った励ましや援助など、人への思いやりとして表すことができる力。

※ 情報モラル教育等により、インターネットの向こうにいる見えない相手を思いやる力。



認め合う力

自分も相手も共にかけがえのない存在であるという理解のもとに、多様な立場や価値観を受け入れて、お互いの特徴や個性、立場を尊重し、共に支え、競い合い、高め合う関係をつくるために必要な力。

※ 多様な交流活動や学級会で、折り合い、練り合い、合意形成する力。



目指す学びの姿

子供たちが1人1台タブレット環境の中で、主体的な学びを深めながら「7つの力」を身に付け、変化の激しい社会を生き抜く力をつけるための学び。

【子供たちの姿】

- 一人一人が最大限の力を発揮できる学び（個別最適な学び）
⇒ 子供たちがタブレット端末を文具と同じように活用し、興味・関心を活かし、自分自身の能力を最大限に発揮しながら、自主的・自発的な学びに取り組むことができる。
- 社会とつながる協働的な学び
⇒ 学びの中で、地域の方と関わり合ったり仲間と協力したりしながら課題を追求し、互いの知識・技能を出し合うことで課題を解決し、本質に迫ろうとする。

個別最適な学び



(指導の個別化)



(学習の個性化)

社会とつながる協働的な学び

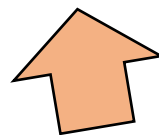


【教師の姿】

多様な子供たち1人1人の背後にある教育課題をしっかりと見据え、ICT機器に精通した教師が支援しながら、家庭や地域社会の様々な機関とのネットワークを構築し、協力し合いながら子供の確かな学びを支援していく。

タブレット ⇒ 学校教育を支える基盤的ツール

- タブレットを文具のように活用
- これまでの学びを活かす
 - ・ 思考を深める発問
 - ・ 学級集団の学びの質を深める姿勢



主体的な学びの中で「7つの力」
を身に付けていく深谷の子供たち

立志と忠恕の深谷教育 × GIGAスクール構想 「渋沢 spirit in ふかや GIGAスクール」

深谷市の教育理念のもと、ICT教育をより一層重視して未来を生きる子供たちを育むための「渋沢 spirit in ふかや GIGAスクール」構想

立志と忠恕の深谷教育 ～ふるさとを愛し、夢をもち志高く生きる～

(目標1)

対面による学びと遠隔・オンラインによる学びとを組み合わせた教育の推進に努める。

- ・ 対面指導と遠隔・オンライン指導を組み合わせた学び
- ・ 教育のハイブリッド化

(目標2)

子供たちが社会とつながり、ともに伸びようとする協働的・探究的な学びの指導・支援に努める。

- ・ 学習履歴を活用した、個別最適化された学び
- ・ 社会とつながる協働的・探究的な開かれた学び

(目標3)

教育委員会・学校・家庭・地域・関係諸機関とが一体となって取り組む学びの構築・推進に努める。

- ・ 関係諸機関の力を結集した学び
- ・ ネットワーク基盤の構築

目標1では

- ・ デジタルコンテンツの活用。
- ・ 遠隔・オンライン指導と対面指導とを組み合わせた教育の推進。

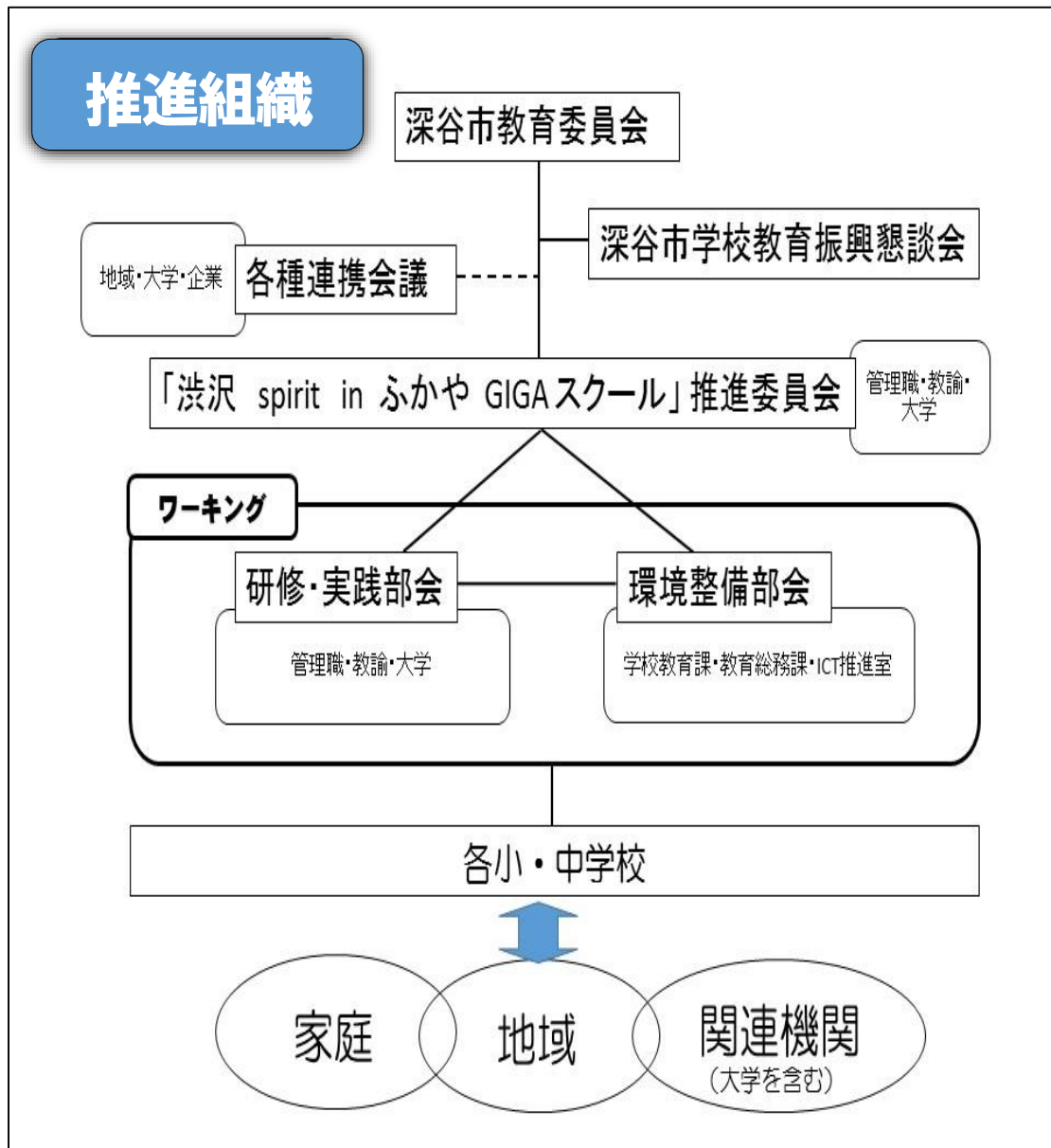
目標2では

- ・ 友達とリアルタイムに情報を共有、オンラインで教室と社会がつながり、協働的・探究的な開かれた学びを実現。
- ・ 子供の学習履歴を活用し、個々に寄り添った授業の充実。

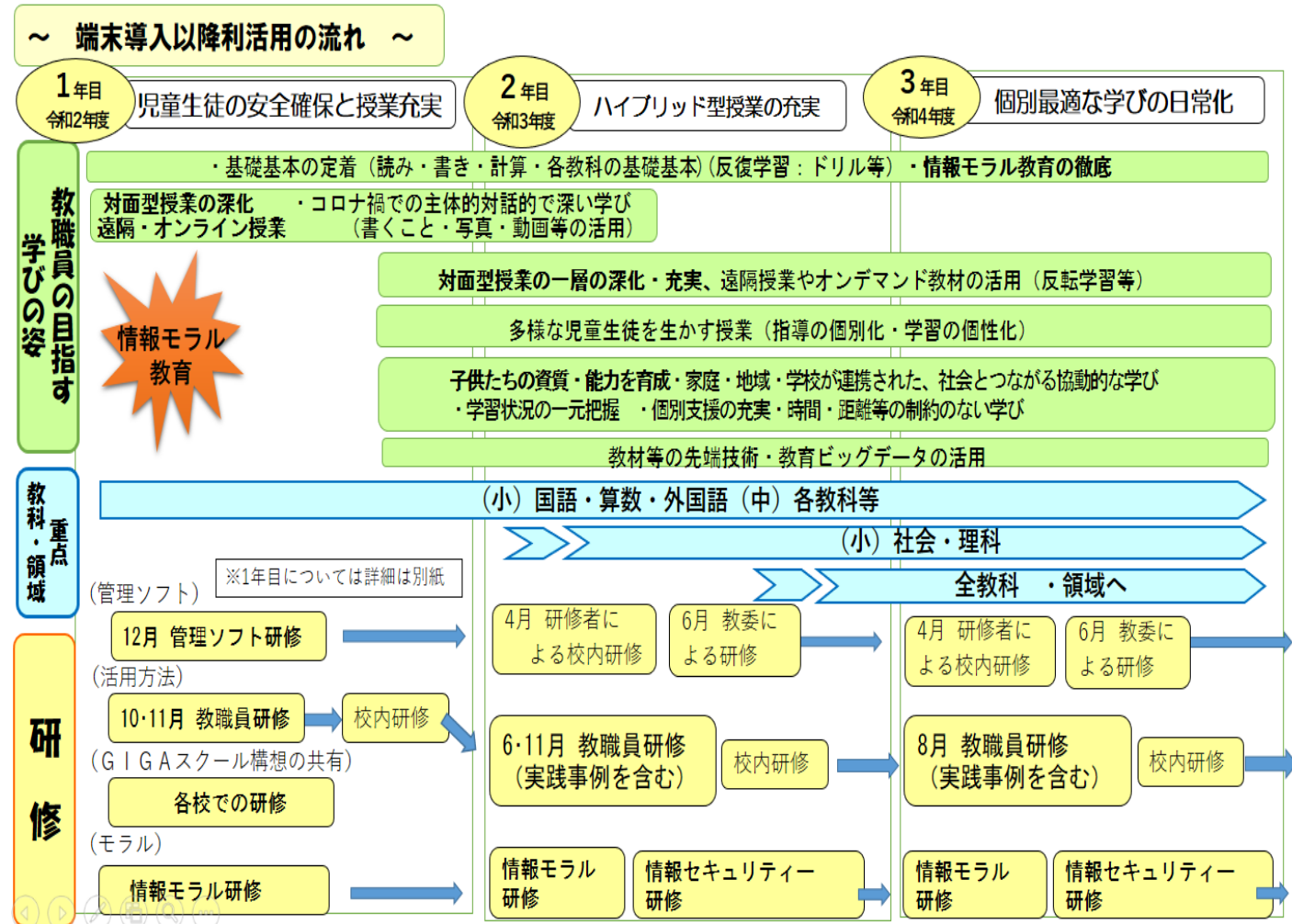
目標3では

- ・ 関係諸機関との連携を密にし、家庭や地域と連携した協働的・探究的な学びを実現。

「WITHコロナ」から「POSTコロナ」に向けて、学校や地域、関係諸機関と一体となって「新しい学び」の姿を創出していく。



活用計画と研修



教職員研修の充実

- 指導に当たる教師が、子供たちの新しい学びを創造するために、学校の意見を取り入れ、段階を踏んだ継続的な研修を計画。
- ☑ 「渋沢 spirit in ふかやGIGAスクール」の基本理念に関する研修
- ☐ 管理ソフト、情報モラルに関する研修
- ☑ 基本操作や授業での活用に関する研修 (動画で配信し繰り返し研修できる)
- ☐ 授業実践事例の共有

深谷市のICT環境整備状況

< 学習環境 >

- 令和2年度～
- iPad (第7世代、32GB、Wi-Fiモデル)
⇒ 全児童生徒、教職員に配付



令和2年度～

- 全教室、体育館に高速大容量のネットワーク環境

- 全ての普通教室に大型提示装置

令和2年度～

- 特別教室に移動可能な大型提示装置



※ 全ての大型提示装置に
画面転送装置 (Apple TV) を整備

< 校務支援 >

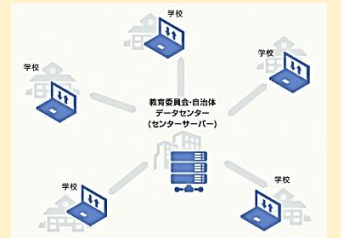
- 平成25年度～
- 校務支援ソフトの活用
⇒ 教員の子供と向き合う時間の創出



県内初

- 令和元年度～
- 学校情報ネットワークの
センターサーバー化

⇒ 強固なセキュリティと
安定した通信の実現



- 教職員全員分のテレワーク環境の整備
(令和2年6月より運用開始)



県内初

「渋沢 spirit in ふかや GIGAスクール」の実現に向けて

- Society5.0時代こそ、教師による対面指導や子供たち同士による学び合い、地域社会での多様な体験活動の重要性がより一層高まっていく。
- 今後、1人1台タブレット端末と高速大容量の通信ネットワーク環境の実現を最大限活かし、これまで取り組んできた実践とICTを最適に組み合わせることで、学びの質を向上させ学校教育に係る様々な課題解決につなげていくことが必要である。
- その際、教師は「渋沢 spirit in ふかや GIGAスクール」で育みたい「7つの力」と、その基盤となる「立志と忠恕」の深谷教育を念頭に置きながら、子供たちの資質・能力を育成するためのツールであるICTの活用研修に努めることが重要である。
- 学校、教育委員会と家庭、地域、関係諸機関とが緊密に連携し、ネットワークを構築する中で温かく子供たちを見守りながら、今後生じるであろう新たな課題を解決するため、深谷市のICT教育を強力に推し進めていきたい。